

菅首相の草土会、鳩山前首相の友愛政経懇話会から多額の政治資金を受けていたことが明らかになった政治団体「政権交代をめざす市民の会」(神奈川、奈良握代表)が、過激派の流れを組む「MPD・平和と民主運動」に一千万円の寄付を行っていたことが判った。同会の平成21年度政治資金収支報告書から明らかになった。

拉致容疑者親族周辺団体へ献金 鳩山由氏側も1000万円

菅直人首相の資金管理団体が、日本人拉致事件の容疑者の長男(28)が所属する政治団体「市民の党」(東京、酒井剛代表)から派生した政治団体「政権交代をめざす市民の会」(神奈川、奈良握代表)に6250万円の政治献金をしていた問題で、鳩山由紀夫前首相の資金管理団体「友愛政経懇話会」も平成19年に1千万円の献金をしていたことが2日、分かった。民主党の首相経験者がそろって多額献金をしていたことで、同党の拉致問題に対する姿勢が改めて批判されそうだ。

産経新聞7月3日(1面)の記事スキャン画像

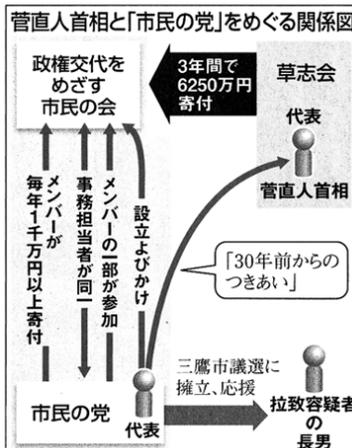


菅直人首相の資金管理団体が、日本人拉致事件の容疑者の長男(28)が所属する政治団体「市民の党」(東京、酒井剛代表)から派生した政治団体「政権交代をめざす市民の会」(神奈川、奈良握代表)に6250万円の政治献金をしていた問題で、鳩山由紀夫前首相の資金管理団体「友愛政経懇話会」も平成19年に1千万円の献金をしていたことが2日、分かった。民主党の首相経験者がそろって多額献金をしていたことで、同党の拉致問題に対する姿勢が改めて批判されそうだ。

政治資金収支報告書などによると、友愛政経懇話会は、めざす会に19年に1千万円を献金。この年には菅首相の資金管理団体「草志会」も5千万円を寄付していた。当時、鳩山前首相は党幹事長、菅首相は党代表代行で、そろって党要職に就いていた。

また「民主党東京都総支部連合会」(東京都連)も、20年に600万円をめざす会に献金。当時の都連代表は菅首相だった。献金について、鳩山由紀夫事務所は「当時の役職者としてのものであり、政治資金規正法にのっとり適切に処理されている」とコメントしている。東京都連からコメントはない。(後略、産経ネットから抜粋)

産経新聞7月2日(25面)の図スキャン画像



産経が飛ばしています。菅首相だけでなく鳩山前首相も一千万の献金です。しかも事務所が「当時の役職者としてのもの」とコメントしていることから、これも伺われる通り、これは個人としてというより、党全体の方針だったとも受け止められます。とにかく「政権交代をめざす市民の会」を全力で支援せよ、と。東京都連も600万ですから、つまりはそう言うことでしょう。

ところで、昨日のエントリーでも紹介した「依存症の独り言」さんが公開してくれた資料によると、この民主党から支援を受けた「政権交代をめざす市民の会」から、なんと「MPD・平和と民主運動」に対して1千万円の寄付が行われたことが平成21年度の政治資金収支報告書で明らかになりました。「MPD・平和と民主運動」ってなんでしょか？。依存症の独り言さんの昨日のエントリーから引用します。

**「市民の党」はブントの血を引く過激派の末裔！**

私は4月1日にアップした「市民の党」と森大志を糾弾せよ！というエントリーで、東京都の三鷹市議選に「市民の党」から立候補している森大志(28)は、田宮高磨の長男だと指摘した。田宮高磨とは、政治に関心の強い人は知っているだろうが、共産同(ブント)赤軍派の軍事委員長にして、よど号ハイジャック犯のリーダーだった男である。

森を擁立した「市民の党」の母体は「MPD・平和と民主運動」である。MPDは、元ブント(共産同)系の活動家たちが結成した日本学生戦線から発展した組織で、その流れは、「MPD・平和と民主運動」護憲リベラル平和・市民「市民の党」となる。

つまり、「市民の党」はブントの血を引く過激派の末裔ということだ。(後略、依存症の独り言、菅の資金管理団体 過激派に巨額寄付 即刻辞任せよ！から引用)

なるほど。これで民主党の支持・関係団体の一つ、過激派との政治資金での結びつきが証明されましたね。上の図でいうと「社会学同」の項目に相当します。話の流れの中で連動赤軍も北朝鮮も登場しますから、この図の信ぴょう性はますます高まったということでしょう。考えてみると、民主党政権というのは文字通り日本の弱体化、解体を目指す存在であることがはっきりしたと言えそうです。

ところで、これほどの重大なスキャンダル。見事に他のマスコミはスルーしたようです。安倍政権や麻生政権時の、実につまらない些細なことを連日大騒ぎしてトップで報じていた時と比較すると、反日マスコミの正体がバレた、と断じて良いと思います。この一件、せめてネットでは我々日本軍がどんどん拡散させましょう。